



東京支部イベント2025

FAJ 特定非営利活動法人
日本ファシリテーション協会
Facilitators Association of Japan

2025
3.2 sun
10時～
開催

ファシリテーション・ゼロ

会議室を飛び出し、未来を共創するファシリテーション



オープニングワーク

午前
人事図書館創設、
吉田洋介氏の基調講演

インターミッションワーク

午後
複数テーマの
ワークショップを開催

エンディングワーク

今年度の東京支部イベントでは、「会議室を飛び出し、未来を共創するファシリテーション」をテーマに、「会議を円滑に進める」「会議の司会進行」に留まらないファシリテーションの可能性を探ります。ゲストスピーカーは人事図書館を創設した吉田洋介氏。人事図書館の「仲間と共に学び、未来を拓く場」を目指す活動はまさにファシリテーションそのもの。会議のための技術と説明されることも多いファシリテーションですが、ファシリテーションの原点（ゼロ点）に立ち返り、「人々の活動を支援する」という本質的な意味を再確認します。参加者全員でファシリテーションの本質について議論し、新たな視点を得る機会となることを目指します。

さあ、「ファシリテーション・ゼロ」をはじめよう！

場所：きゅりあん 〒140-0011 東京都品川区東大井5-18-1

最寄り駅 JR京浜東北線大井町駅

参加費：FAJ会員 2,000円 一般 3,000円

申込詳細情報
はこちら



<https://tokyoevent2025.peatix.com>

主催：日本ファシリテーション協会

後援：品川区公益財団法人品川文化振興事業団

～基調講演ゲストスピーカー紹介

吉田洋介氏

立命館大学院政策科学研究科卒。卒業後、2007年リクルートマネジメントソリューションズに入社。

海外事業立上、九州支社長、スクール事業責任者などを歴任。2021年3月株式会社Trustyyleを設立し、人事不在の企業を中心に組織作りの支援を行う。170名の有志と共にクラウドファンディングで472名から支援を受け2024年4月人事図書館を設立。これまで500社以上、スタートアップから大手企業まで幅広く、採用、人材育成、組織開発、人事制度策定などを経験。壺中人事塾では毎年30-40名ずつの参加者と共に人事の学びの場を磨き続けている。

人事図書館 館長

株式会社Trustyyle 代表取締役

株式会社シーベース 執行役員CHRO

上海晶之道企业管理咨询有限公司 総経理

壺中人事塾 ファシリテーター

(人材マネジメント入門等著者坪谷氏と立上)



分科会 1

SOUNDカード™による「共創を生み出す対話」セッション

ファシリテーター：永野直樹さん

プロフィール：1984年慶應義塾大学工学部卒業後、ソニー・ソニーエリクソンモバイルコミュニケーションズにて、各種商品のソフトウェア開発に従事。20年以上の国内外組織のマネジメント経験から、人生後半を人と組織の成長支援に捧げるために2021年に独立。現在は、組織人事コンサルタントとして、人材マネジメント、キャリア自律、組織開発の支援をしつつ、中土井僚さんとSOUNDコーチ養成講座創りに携わる。

概要：

チームでの共創を生み出す為の対話ツールとして開発されたのがSOUNDカード™です。ファシリテーションのエキスパートでなくても、カードを使って対話することによって、チームングを生み出し、協働しながら前進することを可能とします。基調講演を受けて、このSOUNDカードを使って対話を実際に行い、共創されるプロセスを体験していただけます。

分科会 3

会議から組織開発、そして社会開発へ

ファシリテーター：黒田由貴子さん

プロフィール：FAJフェロー 株式会社ピープルフォーカス・コンサルティングの創業者。1994年から2012年まで代表取締役を務めた。組織開発やリーダーシップ開発に関する企業内研修、コンサルティング、エグゼクティブコーチングを展開。創業前は米国系大手経営コンサルティング会社ならびにソニーで勤務。2010年より累計8社の上場企業の社外役員を務める。

概要：

会議におけるファシリテーターは議論の触媒役を務めるわけですが、ファシリテーターは組織の触媒役として、組織を健全かつ強固に導くこともできます。本セッションでは、まず組織開発の主要テーマである、「チーム」「リーダーシップ」「多様性」「変革」「理念」に焦点をあて、具体的にどのようにファシリテーションするのかを考えます。更には、企業が社会とどう関わるか、その際にファシリテーションがどう役立つのかについても触れたいと思います。

分科会 2

みつけてもらおう、自分の活かし方。

他人に目標をたててもらおうワークショップ「タニモク」

ファシリテーター：三石原土さん

プロフィール：転職サービス「doda」の立ち上げメンバーとしてパーソルキャリア(株)に入社。入社後は多くの新規事業、サービス開発のマーケティングを担当する。2017年「タニモク」を開発。はたらく個人のキャリアオーナーシップを育む機会をつくり続けている。HRアワードなど、社内外の受賞多数。

概要：

「タニモク」は4人ないし3人で目標をたてあうワークショップです。お互いの仕事内容や想い、悩みなどをオープンに対話することと他人の観点や経験を活かすことで、思いもしなかった目標や行動の切り口を得られ、自分の伸びしろに気づくことができます。企業、大学、自治体など、幅広く活用されています。

分科会 4

プロボノから考える社会とのかかわり方（仮）

登壇者：上原一紀さん

プロフィール：地方自治体にてNPO担当部署に従事した後、人事コンサルティング企業に転職。行政・企業での経験を経て、2020年より認定NPO法人サービスグラントに入職し、現在、コーディネーターとして各種プロボノプロジェクトに携わる。副業では、大学の非常勤講師や、ライフデザインや子育て支援に取り組むNPO等にも参画。

概要：

本ワークショップでは、「会議を円滑に進める」「会議の司会進行」に留まらないファシリテーションの可能性の1つとして、プロボノに注目します。前半は、日本における「プロボノ」の草分けとして活動されているサービスグラントの方に、プロボノの紹介や、プロボノ経験者の実践について話して頂きます。後半は、前半のインスピレーショントークの内容を踏まえ、参加者同士で対話し、プロボノの理解を深め、新たな視点を得る機会となることを目指します。

～企画チーム紹介

ファシリテーションをはじめよう メンバー：佐竹正人(たけまさ)、増平貴之(ますら〜)、吉田聖美(きよみ)

2017年、ファシリテーションを広めることを目的に活動開始。これまでにFAJ会員向けイベントだけでなく、一般の方へのイベントも含め70回以上のワークショップを企画。400名以上が参加。ファシリテーションという言葉を書いたことはあるけど・・・という方にファシリテーションをわかりやすく伝えるため、会議のための技術として紹介することも多かった私たち。。。。ただ、それではファシリテーションを広げるのに限界があるのでは、という気持ちに至り、今回のイベントを企画しています。



分科会
午後
ワーク